

2017年 病院・地域精神医学

総目次

第60巻 (通巻204~206号)

第60巻第1号 (通巻第204号)

(巻頭言) 精神保健福祉法改正への一考察 山口弘美 1

第59回総会 (東京練馬大会) 特集<2>

●シンポジウムⅠ I-A1: 精神科病院を問い直す

1. 精神科病院の立場から 分島 徹 5
2. 精神科病院、看護師の立場から 小山明美 7
3. 精神障害者ピアサポートセンターこらーる
たいとうの陽和病院への友愛訪問活動 加藤真規子 9
4. 私の入院体験 富山明雄 10
5. 指定発言 長野敏宏 11
- シンポジウムⅠ I-A1 質疑討論 14

●シンポジウムⅡ I-B1: 精神保健福祉法体制からの転換

1. 医療と福祉について
—入院を経験した当事者として— 尾木真也 18
2. 日本の精神科入院制度の法的見地からの許容性
佐々木信夫 20
3. 引くべきところからは引くこと(再度)、他 立岩真也 24
4. 医療現場における実情と課題 蓑島豪智 27
- シンポジウムⅡ 質疑討論にかえて
座長の印象記 桐原尚之 32

●診療報酬セミナーⅡ-C1: 現制度の中でできることの中で
将来の方向性を探る

1. 医療法人光愛会の地域医療の展開について 横江邦彦 33
2. 診療報酬・経営の視点から考える精神科病院の
ダウンサイジング 熊谷彰人 35

●薬剤師セミナーⅡ-B3: 精神科薬物治療における剤数制限
と薬剤師の役割

1. 精神科病院改革における薬剤師への期待 小林和人 39
2. 薬剤総合評価調整加算を機に精神科薬剤師の
役割を見つめなおす 福島泰輔 40

●一般演題5 I-B2: 法と人権1

1. 「とりあえず入院処遇」を避ける
鑑定・鑑定入院を 中島 直 42
2. 精神科医療機関における市民主導型人権
保障活動の展開過程
—京都・滋賀精神医療人権センターへの
事例研究 (1988-2002) —
吉池毅志 45
3. 日本の精神障害当事者の運動と
オルタナティブ・アプローチ 桐原尚之 47
4. 「心理社会的障害」の意味
—障害問題の解消の仕方に関する差異 伊東香純 49
5. 精神「当事者主体」をめぐる言説の変化と
支援の立場をめぐる考察 東谷幸政 平塚倫子 51

●一般演題6 I-B3: 法と人権2

1. 精神科病院における構造的暴力 長谷川唯 53

2. 精神障害者の語りから、精神科における
「身体療法」の意味を考える 永井義雄 三田優子 55
3. 地域からの風を私たちは活かせるのか? パートⅡ
~「出張法律相談」を通して私たちの意識は
どう変化してきたか~
館澤謙蔵 保田美幸 大河内咲 57
4. 精神医療国家賠償請求訴訟研究会の到達点と
今後について 長谷川敬祐 60
- 5・6. 患者側から見た精神科の病院の人権状況
~2005年以降の入院経験者を対象とした
大阪府内でのアンケート調査結果から~
原 昌平 三田優子 62

●一般演題10 I-G4: デイケア・アクティビティ

1. デイケアにおける集団音楽療法の実践報告
~異なる目的を持つ2グループの活動~
長坂希望 大塚なつみ 岡部みどり
根本真奈 金杉和夫 68
2. 精神科リハビリテーションとしてのスポーツ活動の有効性
—体力・運動能力向上のための運動プログラムの検討—
中村恭子 広沢正孝 鈴木宏哉
鈴木利人 渡部利一 玉田和美 城島郁恵 70
3. 精神科デイケアにおける集団音楽療法の効果
—創作歌唱活動を中心に—
奥山聡美 石井睦子 清水北斗 安井 正 73
4. 第1回ソーシャルフットボール国際大会の
実践から見えてきた課題
~実行委員会の立場から次につなげるために~
平山惣一 真庭大典 田淵 誠
吉田匡孝 大島 誠 75
5. 精神科デイケアプログラムにおける
「茶の湯プログラム」の点前効果についての検討
清水北斗 石井睦子 奥山聡美 安井 正 79

編集後記 佐藤朝子 83

第60巻第2号 (通巻第205号)

(巻頭言) 病地に出会い学んだこと 岡部みどり 85

第59回総会 (東京練馬大会) 特集<3>

●教育講演Ⅱ I-E2: 成年後見・意思決定支援

成年後見・意思決定支援 池原毅和 89

●教育講演ⅣⅡ-A2: 当事者研究から見た痛みと支援

当事者研究から見た痛みと支援 熊谷晋一郎 100

●シンポジウムⅣ I-E3: 連続と続く事件から人権を考える

1. 精神科の患者の人権はなぜ守られないのか 佐藤光展 110
2. 4. 精神科病院における長期入院の実態と退院支援活動
~報徳会宇都宮病院と福祉行政をめぐって~
山川幸生 大河内知彦 111
3. 一宮病院事件裁判から 中谷雄二 113
- シンポジウムⅣ I-E3 質疑討論 117

●シンポジウムⅤⅡ-A3: 病院・地域精神医学の進むべき道

1. 自治体立精神科病院の立場から 樋掛忠彦 123
2. 病院・地域精神医学への進むべき道 関口明彦 126
3. 当事者・多職種間の協働を通して人と
社会をエンパワメントする立場から 高島克子 127
4. 病院・地域精神医学への進むべき道 長谷川利夫 130
5. 指定発言 大会長から 金杉和夫 132

6. 指定発言 学会理事長から	山下俊幸	133	4. 自閉症スペクトラム障害 (ASD) に対する多職種チームの 関わり 土居安希 松浦寛美 井原里美 中野健二	178
●薬剤師セミナー II-B3: 精神科薬物治療における剤数制限 と薬剤師の役割			6. 急性期病棟で成長・発達を促すケアの実践のために ～ペアレントトレーニング・プログラムの手法を 看護教育に取り入れる試み～	清野聡子 180
3. 精神科薬物療法における多剤大量処方から 剤数制限へ精神科専門薬剤師に期待する事	山口弘美	135	●一般演題8 I-F4: グループワーク (アディクション・家 族会)	
●一般演題1 I-F1: 地域移行・生活支援			1. 精神科病院における物質使用障害治療の現状について ～スマーブを用いた依存症プログラム～	鈴木直子 中島 直 184
1. 精神障害者地域移行支援の促進に向けて ～千葉県全圏域の調査を通して～	小川武美	137	2. アルコール依存症, それぞれの回復によるミーティングの意 義を検証する ～犬山病院アルコールミーティングへの参加を通じて～	藤原愛女 186
2. 地域移行支援において市町村が担うべきこと ～埼玉県市町村を対象としたアンケート・ インタビュー調査から～	小船伊純 古屋龍太	139	●一般演題9 I-G3: 入院治療	
3. ピアサポーターを導入した長期入院患者への 地域移行支援の取り組み ～ピアサポーター自身のリカバリーに対する 有効性～	野瀬千亜紀 高村裕子 寺西宏晃	142	1. 精神科病院における介護抵抗がある認知症高齢者ケアの向上 ～強制ケアのない病棟を目指して～	永田有美 佐野愛里 杉浦亜佳音 190
4. 精神科リハビリテーションにおける精神 障がい者の退院支援 一退院準備度評価尺度 [DRI] を用いて一	佐野哲也 丹羽幸枝 野口由紀子 田中博高 桑野祐次 成田真由子	146	2. 入院型医療から脱却していくための精神科病院に おける認知症治療支援への関わりについて	木下一雄 193
5. 精神障害者の「居場所」= 「地域活動支援センター」 の存在意義 一茨城県内における「地域活動支援センター」 調査結果と実態との照合をとおして一	高島眞澄	149	3. 昏迷状態にあった患者への多角的アプローチの実際と 評価	伊地知真一 吉中聡子 平賀成美 196
6. エコロジカル・コミュニティ・ソーシャルワークの実践 一日本と韓国の比較を通じて一	東谷幸政	151	4. 長期入院者の退院が出来ていない現実について	村瀬 崇 199
●一般演題2 I-F2: 訪問看護・連携			5. 精神科入院患者における身体合併症の現状調査 荻野夏子 吉川隆博 北村周美 小椋正道 安井大輔 鈴木圭二 矢田弓子	201
1. 訪問看護ステーションにおける精神保健福祉社 の効果	田中文字人 原子英樹 添田雅宏 岡部恵子 栗山耕太 佐藤幸美	153	6. 開放病棟から閉鎖病棟に変わったことによる所持品・ 持ち込み物品の考察 ～スタッフへの意識調査を実施して～	野村雅晴 片山朝美 長谷川加奈子 丹羽千恵 204
2. 精神科訪問看護1日研修の経験から 地域における薬剤師のあり方を考える	鈴木徹士 向江大樹	155	●市民公開講座: 私たちが普段心に隠しているもの 私たちが普段心に隠しているもの	
3. たゆたう精神医療の提唱 一訪問看護部 (多職種協働) からの実践一	深井久仁子 梶元紗代	158	小池真理子 206	
●一般演題3 I-G1: 外来・リハビリテーション			【書評】	
1. 通院以外に社会参加の場を持たない方々への関わり ～クリニックにおける精神保健福祉士の実践～	富沢一洋 古屋龍太	161	加藤真規子 著『社会的入院から地域へ精神障害のある 人々のピアサポート活動』	
3. 単科精神科病院外来医療が求められているものと 果たすべき役割 一アンケート調査からの一考察一	浅川喜久次 服部寿子 堀内法子 蓮井亜矢 松本美香 成田真由子	165	服部正康 214	
5. 今問われている外来者OT ～OTが外来者にできること～	安田雄祐 嶋田あゆみ	168	編集後記	
●一般演題7 I-F3: 児童・発達障害			西尾雅明 216	
1. 京都発達精神医療ネットワーク (KDPネット) の立ち上げと実践についての報告	長倉いのり	171	<hr/>	
2. ギフテッドの福祉的支援の検討 一文献にみるギフテッドの視座と福祉職に 求められるもの一	山本澄玲	172	第60巻第3号 (通巻第206号)	
3. 不登校の子どもに対する強制法をめぐって ～臨床家による有形力の行使と子どもの権利擁護～	山岸竜治	176	〔巻頭言〕 学会の未来	
			樋掛忠彦 219	
			第60回総会 (長野松本大会) 特集<1>	
			●大会長講演: ひらかれた精神医療福祉	
			ひらかれた精神医療福祉 ～伝統と未来～	
			樋掛忠彦 222	
			現地報告: 地域精神保健における連携と協働	
			地域精神保健における連携と協働	
			小泉典章 柏崎 由 225	
			●基調講演: 話を聞くって難しい一自動翻訳装置をオフにする 話を聞くって難しい	
			一自動翻訳装置をオフにする	
			萱間真美 229	
			●シンポジウムIV II-A2: 精神科的ケア、関わりのあるあり方を 考える	
			1. 精神科的ケア, 関わりのあるあり方を考える	
			黒川めぐみ 232	

2. 精神科的ケアの関わりのありかたを考える 木村敏の「あいだ」の考えを手がかりとして	増子徳幸	234
3. 今求められる精神科的ケア ～医療機関PSWの立場から～	新井山克徳	237
○シンポジウムⅣⅡ-A2 質疑討論		239

●薬物療法セミナーⅠ-C2：支える医療を目指した薬物療法

1. 地域・訪問で支える立場から 精神科病院薬剤師が行う訪問看護と服薬支援	内山道子	244
2. 退院後の生活を見据えた病棟業務	佐藤康一	245
3. 外来で支える	亀井浩行 岩田伸生	246
4. 医療観察法病棟における服薬中断プログラムの実践報告 ～統合失調症患者の再入院予防を目指して～	村杉謙次	248

●一般演題1Ⅰ-D1：認知症

1. 認知症の方に精神医療が関わる意味について	横山晶一	252
2. 認知症医療に従事する精神科ソーシャルワーカーの地域に対する課題意識 ～東京都内精神科病院へのアンケート調査から～	木村亜希子	253
3. 精神科急性期病棟における認知症患者への看護の現状と課題	寺村周康 桧山久司 館わかな	256
4. 意味性認知症のケアを通しての一考察	高橋妙子 南方英夫 村田志保	258
5. 認知症予防の習慣化を図るためのホームワークの作成と活用 ～フィンガー研究4要素を取り入れた自己選択型のホームワーカー～	高江洲慶 石川 修 川崎八月 上里 解 新里弓華	260
6. 認知症予防プログラムの取り組み ～病院臨床の中で行う予防教室の実践とその意義について～	石川 修 三善富士雄 上地安之 伊波勤子 中村 信 小豆澤浩司	262

●一般演題3Ⅰ-D3：退院支援

1. 精神科救急病棟・急性期病棟における在宅復帰の実態と阻害要因	中島 直 佐藤利奈 石原恵亮 松原玲子 藤井友美	265
2. 人がかわるために大切なこと ～退院に向けた取り組みから～	田邊美津子 能口律子	267
3. 看護の決断と家族の覚悟 ～まさかの退院・まさかの在宅・まさかの訪問看護へ～	前原敬子 河合真由美 加藤幸恵	268

【研究論文】

療養病棟へ長期入院中の統合失調症高齢患者の介護の手間と作業機能の状態	小砂哲太郎 水野 健 奥原孝幸	270
------------------------------------	-----------------	-----

【論壇】

「私たちの津久井やまゆり園事件」 (堀 利和編著 2017.9.1. 社会評論社) コミュニティ心理学的アプローチからの提言	高島克子	275
--	------	-----

【編集委員会インタビュー】 ② 先達に聞く

東北の地域精神保健活動と、震災が教えてくれたもの	白澤英勝	279
--------------------------	------	-----

【学会だより】

第60回総会（長野松本）総会議事	289
総会議事 議案書・資料	293
2017年度 第1回理事会（2017年7月2日）	309
2017年度 理事・評議員合同会議（2017年11月2日）	310
2017年度 第2回理事会（2017年11月4日）	313
2017年度 第3回理事会（2018年2月4日）	313

編集後記	木村朋子	315
------	------	-----